

令和6年第2回（6月招集）
袖ヶ浦市議会定例会議員発議案

袖ヶ浦市議会

目 次

議案番号	付 議 事 件 名	頁 数
発 議 案 第 1 号	国民健康保険に対する国庫負担の増額等を求める 意見書について	3

発議案第 1 号

国民健康保険に対する国庫負担の増額等を求める意見書について

上記議案を別紙のとおり、袖ヶ浦市議会会議規則第 14 条第 1 項の規定により提出いたします。

令和 6 年 6 月 25 日提出

提出者	袖ヶ浦市議会議員	励波	久子
賛成者	同	渡辺	あゆみ
同	同	吉岡	淳一
同	同	塚本	幸子
同	同	篠崎	典之

袖ヶ浦市議会議長 榎本 雅司 様

提案理由

国民健康保険に対する国庫負担の増額等を求めることについて、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出したく、袖ヶ浦市議会会議規則第 14 条第 1 項の規定により議決を求めるものである。

国民健康保険に対する国庫負担の増額等を求める意見書

国民健康保険は、無職者、年金生活者、非正規労働者が多く加入し、医療保険制度の中でも所得が最も低い反面、年齢構成が高く、医療費水準が高くなるという構造的な問題を抱えています。そのため一人当たりの保険税は、中小企業の労働者が加入する協会けんぽの2倍にのぼります。

全国知事会、全国市長会、全国町村会など地方団体も、国保の定率国庫負担の増額を政府に要望しています。具体的に1兆円規模の公費を投入し協会けんぽ並みの負担率にすることを政府に求めています。

また、収入が変わらなくても家族の人数が増えれば「均等割」が増えるしくみは他の保険にはなく、多子世帯ほど重い負担となっています。

これらの問題は、国保の都道府県単位化になっても何ら解決されておらず、一般会計の法定外繰り入れの独自施策も抑制され市民の税負担は増すばかりです。

よって袖ヶ浦市議会は、以下について適切な措置を講じることを求めます。

記

1. 国民健康保険制度に係る国庫負担率を上げ、他の被用者保険と均等な被保険者の負担とすること。
2. 低所得世帯や子育て世帯に対する負担軽減策を国の責任と負担において、さらに拡充・強化すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和 6 年 月 日

千葉県袖ヶ浦市議会議長 榎本 雅司

衆議院議長 様

参議院議長 様

内閣総理大臣 様

財務大臣 様

厚生労働大臣 様